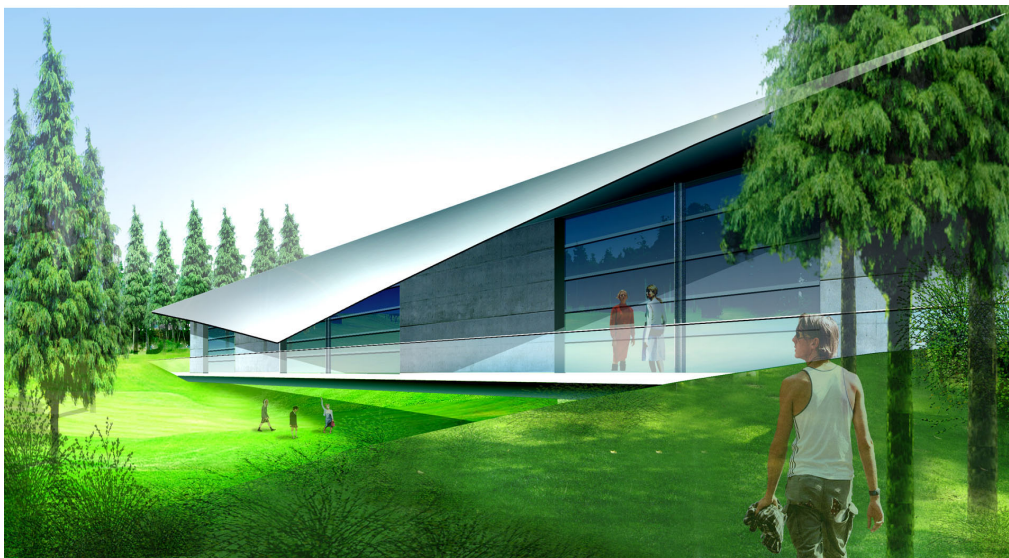


東京電力自然学校“あてま森と水辺の教室ポポラ”の  
新施設「森のホール・水辺のホール」の特徴

【 森のホール 】



森のホールでは、自然体験プログラムの参加・受付やフィールドの情報などを提供する「インフォメーションカウンター」、および当間の自然や十日町地域の文化などを紹介した「展示コーナー」を設置し、お客さまがゆっくりとくつろげる空間を提供いたします。

インフォメーションカウンター

プログラム参加・受付の場であるとともに、フィールド情報などを提供するパネル、パンフレット、モニター等を設置し、スタッフとお客さまの直接的なコミュニケーションの場としてご利用いただけます。

展示コーナー（十日町地域の棚田を表現した生態展示）

稲、ブナの幼木、ため池水槽など本物にこだわった生態展示を設置し、“生き物の宝庫”である田んぼに暮らすいろいろな生き物とそのつながりについて紹介いたします。

また、建築空間全体を活用した四季おりおりの環境音を体験し、ゆっくりとくつろげるスペースとしてご利用いただけます。

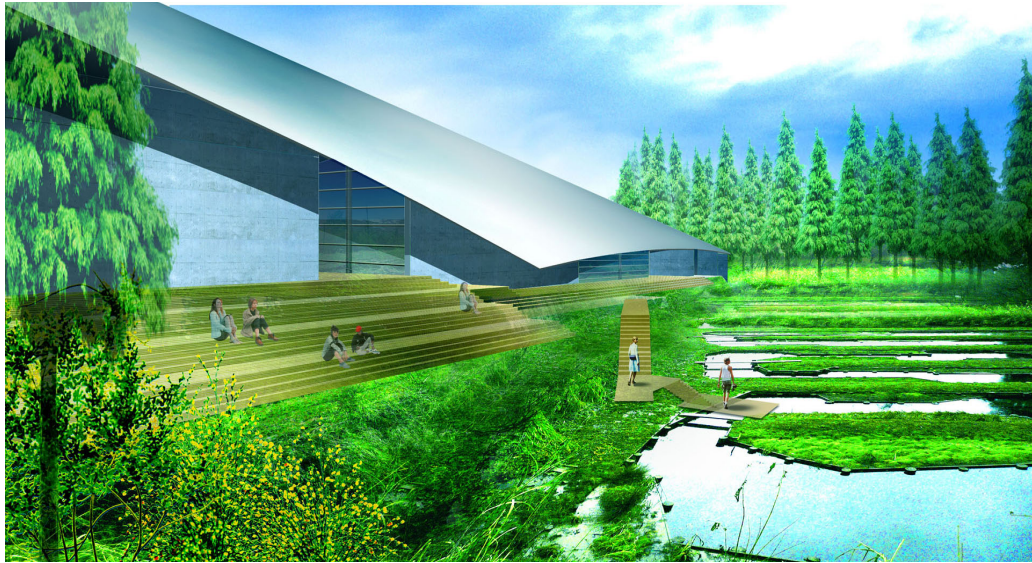


インフォメーションカウンター



展示コーナー

## 【 水辺のホール 】

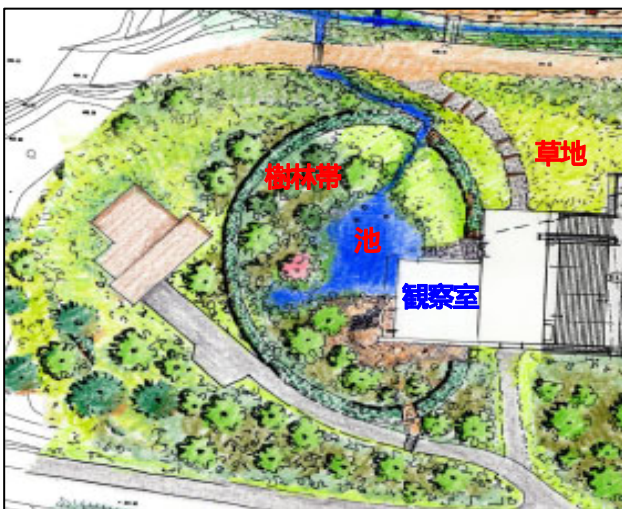


水辺のホールでは、建物と周囲の自然が一体となるように、雪国の十日町に受け継がれてきた里山の風景にならい、建物周辺に森や水辺の環境を整備しております。また、建物周辺のフィールドを活用し、自然観察指導員（インタープリター）を養成する「人材育成」や、生物の生態を把握するための「調査・研究」を実施いたします。

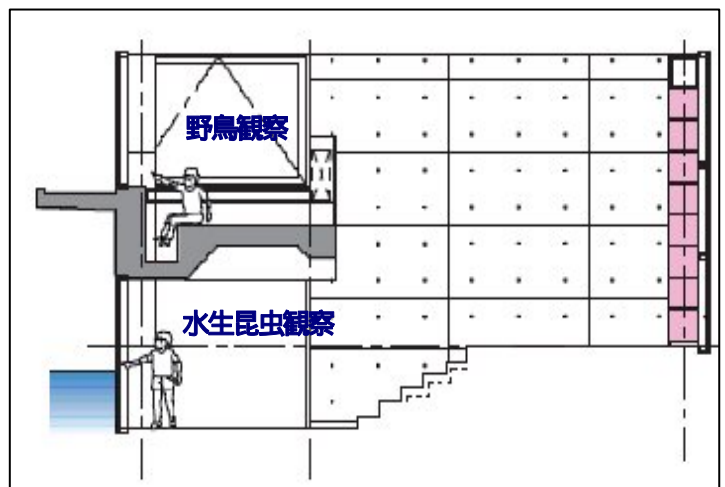
なお、「観察室」では、当間に生息する生き物を間近に見ることができる空間を提供いたします。

### 観察室

観察室周辺に、水生植物や水生動物が生息できる水辺や草地、および樹林を整備することで、当間に生息する野鳥、水生昆虫、ネズミなどの小型哺乳類を室内から間近に観察できる施設としてご利用いただけます。



水辺のホール観察室 周辺計画平面図



観察室断面図